



2012年5月10日

2012年3月期 通期連結決算報告(2011年4月~2012年3月)

- 2月2日発表の見通しに沿った業績
- 建築用ガラス事業の業績は市場の軟化を反映
- 自動車用ガラス事業の業績は投入コスト増と著しい需要変動により減益
- 機能性ガラス事業は、サブセグメント毎に需要の硬軟を織り交ぜた業績
- 新経営陣の喫緊の課題は収益性の回復
- 業績および業績見通しを反映し、2012年3月期の期末減配および2013年3月期の無配予想を決定
- 2013年3月期の業績見通しは厳しい世界経済の状況およびリストラクチャリング施策を反映

2月2日発表の見通しに沿った業績

- グループ売上は5,522億円(前年同期5,771億円)。前年比4%減収だが、為替変動を除くと横ばい
- 特別費用を除いた償却前営業利益は、149億円(前年同期305億円)。特に第3四半期および第4四半期の厳しい状況を反映
- 2月2日に発表したリストラクチャリング施策の初期段階の費用を含め特別費用は33億円

建築用ガラス事業の業績は市場の軟化を反映

- 市場は概して低調で、特に欧州では供給過剰水準が上昇
- ソーラー用ガラス年間需要量は前年並みであったが、第3四半期および第4四半期に需要が低下
- 投入コストアップを市況低調のため値上げが吸収しきれず
- 建築用ガラス事業の売上は2,394億円(前年同期2,486億円)、営業利益は91億円(前年同期138億円。チリ地震の保険収益33億円を含んだ実績)
- 持分法適用会社については各地域で建築用ガラス市場の困難な状況に直面

自動車用ガラス事業の業績は投入コスト増と著しい需要変動により減益

- 年間を通した需要の変動により多くの市場で利益に影響
- 短期的な値上げ範囲は限定的であることから、投入コストアップが利益を減少
- 補修用(AGR)需要はわずかに減少したが、ミックス改善により利益増
- 自動車用ガラス事業の売上は2,512億円(前年同期2,640億円)、営業利益は51億円(前年同期119億円)

機能性ガラス事業は、サブセグメント毎に需要の硬軟を織り交ぜた業績

- UFFの一用途であるタッチパネル搭載のスマートフォン・タブレットPCの需要伸張
- エンジンタイミングベルト用ゴムコードは欧州自動車市場軟化の影響を受けた
- 機能性ガラス事業の売上は602億円(前年同期629億円)、営業利益は69億円(前年同期77億円)

新経営陣の喫緊の課題は収益性の回復

- 2010年11月に発表した戦略的経営計画(SMP)は、最近の市場動向や会社業績を踏まえ見直し
- 短期的には、収益性の回復が成長よりも優先
- リストラクチャリング施策および効率化の取組みを継続かつ加速
- 2月2日に発表したリストラクチャリング施策を実施。追加の施策は検討中であり、決まり次第発表予定

業績および業績見通しを反映し、2012年3月期の期末減配および2013年3月期の無配予想を決定

- 2012年3月期の期末減配および2013年3月期の無配予想は事業の現状を反映

2013年3月期の業績見通しは困難な世界経済の状況およびリストラクチャリング施策を反映

- 年間の売上見通しは5,600億円(2012年3月期並み)。大きな市場回復は想定せず
- 無形資産償却前および特別費用を除いた営業利益は、50億円のコスト削減効果含めて220億円を見込む
- 190億円の特損費用予想を反映し、当期利益は100億円の赤字

連結損益計算書



(億円)	12年3月期 通期	11年3月期 通期	前年比
売上高	5,522	5,771	-4%**
無形資産償却前営業利益	149	305	
償却費*	(72)	(76)	
個別開示項目前営業利益	77	229	
個別開示項目	(33)	-	
営業利益	44	229	
金融費用(純額)	(143)	(163)	
持分法による投資利益	51	87	
税引前利益(損失)	(48)	153	
当期利益(損失)	(17)	158	
親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)	(28)	124	
EBITDA	464	642	-28%

*ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却のみを考慮

**為替変動を除くと増減無し

2月2日発表の見通しに沿った業績

2012年5月10日 | 2012年3月期通期決算報告